

今回は、保育園と自営の塾で年中児から中学生までの幅広い年齢層の子どもたちを指導されながら、福島市の教育委員会が募集する英語活動支援員（EAA）として市内の小学校で活躍されている板倉さんの実践報告です。



板倉ゆかりさん

J-SHINE 通信

2016年2月号

現在 EAA(English Activity Assistant)として活動を開始して10年目。福島市内の小学校6校を担当 J-SHINE小学校英語上級指導者 保育園にて英語活動 小中学生の5教科指導塾を経営 外国人受刑者と臨床心理士の面談の通訳

■ J-SHINE資格、上級指導者資格取得のきっかけ

長男が小学校3年生の時に通っていた小学校の「ボランティア募集」でALTの通訳を依頼され、英語活動に携わるようになりました。それまでも子ども英会話教室にて0歳～中学生に英語を指導した経験はありましたが、小学校でも英語を指導するニーズは高まるだろうと思い、J-SHINEの研修を受けて資格を取得しました。このころ自宅で小中学生向けの塾を開校。その後、市の教育委員会が募集する英語活動支援員（EAA）に応募し合格、小学校での英語活動に本格的に取り組むこととなりました。

「外国語を教える」ことに関しては、JICA*1の外国人講師のクラスをオブザーベーションする仕事に携わったこともあり、英語はもちろん、アラビア語、フランス語など各国の講師の素晴らしい指導法などからさまざまなヒントをいただいたことがとてもいい経験になっています。



EAAとして活動を開始して10年が経ちましたが、毎年数多くの小学校に出向き、たくさんの児童や先生と英語活動をおこなう中で、自分自身の指導法の引き出しが増えてきました。担任の先生をもっとうまくサポートするためにもさらに経験を重ね、今まで積み上げてきたものをたくさんの学校でシェアしたいという思いから、上級指導者を目標に頑張ってきました。単に「指導経験が長く、時数が規定に達したため上級指導者になれた」とは思われたくないので、一緒に働く仲間や小学校の先生、ALTの指導法からも謙虚に学ぶ姿勢を忘れず、指導法をブラッシュアップしていきたいという思いで続けています。

■ 現在の活動状況

EAAの活動は、毎年4月に募集、5月に面接（日本語・英語）、6月から実際に各学校に出向きます。

長年継続している学校はもちろん、はじめて担当する学校でも、担任の先生から「子どもたちの興味関心」や「どんなアプローチがよいか」「フォローが必要な子どもはいるか」など、綿密に情報をいただくようにしています。特に気を付けていることは、「小学校の子どもたちが全員英語を好きな訳ではない」ということ。

特別支援学級の子どもたちや、フォローが必要な子どもたちにも臨機応変にアプローチを変え、担任の先生と協力して活動を考えます。はじめての活動の時間に「ぼく英語きらいだから」と言っていた男子児童が、活動を進めるにつれ積極的に参加するようになり、自然に英語で話している姿を見た時は本当に感動しました。また、6年生の「将来の夢」の活動では、「通訳にな



りたい」など英語に携わる仕事をあげると児童が増えてきたことがとても嬉しいです。

授業を一緒に進めてくださる担任の先生方は、本当に素晴らしい「俳優・女優」であり、一緒に TT (team teaching) を進めて

いく中で上手に子どもたちをリードしてくださいませ。わざと間違ってみせたり、よいお手本になってみたり、本当にお上手！そんな姿を通して子どもたちはどんどん英語の世界に引き込まれていきます。

活動内容は、「理科」「数学算数」「社会」「図工」などをうまく取り入れ、子どもたちが得意な教科に積極的になるあまり「自然に英語で」参加している、となるように工夫しています。社会が好きな児童は、地図記号や国旗のテーマで積極的にその知識を披露してくれました。

数の活動では、ハロウィンの時期だったこともあり「Three eyes」などの英語を聞き取り、思い思いのモンスターを描きました。また、好きなデザインの T シャツを作ったり、特大パフェの注文をとったり、フィッシングゲームではいろいろな形を釣ったりと、イキイキと活動する子どもたちを見ながら私も一緒に楽しみました。

保育園と自営の塾でも英語を指導しているので、年中児から中学生までの子どもたちの発達段階に応じて活動を組み立てることができることは自分自身の大きな強みだと思っています。

■ 今後の目標、 上級指導者資格を目指す方々へのメッセージ

昨年 12 月に福島県の特例通訳案内士の資格を取りました。合格の報告をしたときに、児童達も一緒に喜んでくれ、その仕事内容に非常に興味をもってくれました。英語を使って誰かの役に立ちたい、少しでも自分にできることを、の思いでいろいろなことに挑戦してきましたが、子どもたちに少しでもそんな姿を見せることができたら・・・英語を通して、彼らの世界を広げてあげることができたら・・・と思っています。

これから小学校の現場で指導する J-SHINE 取得者の皆様、上級資格を取得しようと思っている皆様、現場はとても楽しいですよ。小学校の先生とつくりあげる 45 分は短いようでも中身はとても濃く、子どもたちの素晴らしい才能の開花を目の当たりにするドラマの連続です。

「誰よりもお金と時間を英語の指導の勉強に費やしてくださっている先生方（私たちのことです）に敬意を表してください」と、ある小学校の先生が研修会で言うていただきました。それを聞いた時、私たちのやっていることは決して無駄ではない、と思うことができました。私たちにできることはまだまだたくさんあります。一緒に子どもたちのために頑張っていきましょう！



*1 JICA ジャイカ：独立行政法人国際協力機構

* J-SHINE 通信 Web ページ

この 2016 年 2 月号をはじめ、過去に発行した J-SHINE 通信はすべて J-SHINE の Web サイトから配信しています。

こちらからご覧ください。

<http://www.j-shine.org/tsuushin.php>